

寺報

龍正寺

日なた 140号

庚子
日廷



<令和 2年 1月>

宝龍会
護持会

往職一言

あけまして、おめでとうございませす。

令和になり、初の正月を迎えました。

本年は庚子七赤金星の年です。

『白蓮大聖人御遺文 松野殿 御返事に云々』(菩提心を発す)

「魚の子は多けれども魚となるは少なく、菴羅樹の花は多くても葉になるは少なし。

人も又此のごとし、菩提心を発す人は多けれども退せずして實の道に入る者は少なし。

すべて凡夫の菩提心は多く悪縁にたぼらかされ事にふれて移りやすき物なり、鎧を着たる兵者は多けれども、戦に恐れをなさざるは少なきがごとし。

魚の子は多いが、魚になるのは少い、菴羅樹の花は多く咲くけれども實になるのは少い、人も変同様で菩提心を発す人は多いが途中で退転しないで實の道に入るものは少い。

すべて凡夫の菩提心など、いうものは薄弱であって

悪縁に迷わされたり、障礙にあたりすると退転し
やすいものである、丁度鎧を着る武士は多くても戦
を、お是れなものは少いようなものである。

菩提心をお磨き下さい。

皆様のご多幸をお祈り申し上げます。令和2年寺報日なた
ホームページを御愛用下さいます事をお願い致します。

合掌

—— 経験は宝となる ——

新年明けましておめでとうございます。

本年も「日なた」をよろしくお願い致します。

今年で、長女は専門学校2年生へ、長男は中学校入学、次男は4年生へ進級します。

昨年末、フィールドホッケーの全国大会が岐阜で行われました。娘は高校時代、ホッケー部に所属し、毎日の帰宅は遅く、土日でも1日練習、長期休暇中もほぼ休むことなく練習に参加していました。朝練習も自ら選んで参加し、今思い返しても、よく頑張ったと思います。そんな娘が、小学生からの夢だった、美容師になるために専門学校へ進学し、テスト前には居残り練習を自ら志願して励み、インターンシップでお世話になった美容院に、夜練習に伺ったりと、学校以外の場所でも頑張る姿は、高校時代に積み重ねた時間があるからこそだと感謝し

ています。

全国大会に出場した卒業高は、見事ベスト8
という結果で応援に行った娘も大喜びでした。

新しい年を迎え、今年は何んな年になるのか、
何か起きるのかドキドキ、ワクワクしますが、たとえ
苦しい事であっても、自分に必要な時間だから
与えられたんだと理解し、自分に乗り越えられ
るから与えられたと壁を乗り越え、何か気付かせ
て頂く事ができれば、その経馬は後に、きっと自
分にとってプラスになって戻ってくると思います。
皆さんにとって、今年が幸せな年になりますよう
に...♡

1年の振り返り・今年の思い！！

本を読んで「イラッとくるのは、まるで自分を見ているようだ」から」その中の文章に「イラッとくる相手は必ずあなたの過去が密接に関係してくると...

イラッとする原因がわかれば、イラッとしないように対策するのは簡単ではないだろうか。

イラッとさせられた相手は他の誰でもない、自分自身の姿だと気づくことだ。

自分も「人」「場所」「時」を変えれば、まったく同じことを他の人にやっていると感じかされ、時イラッとせず感謝できる。

分かっているけど実践となると難しい。目の前にはイライラ、怒りとなる人、物事が表われるからだ。

その思いを感情にまかせて外に向けるのではなく、なぜ、その事が自分に起きているかを考える、内向きの(自分自身への)思考過程が大事であるとわかる。

只、このことを意識するのが難しい。人は自分が正しいと思ってしまうから...

目の前に起こる事実は、自分にとって足りない又は、気づくべきことへの表れに過ぎないということ。

因果心報 この4文字熟語で表されると、この言葉に
まとめられる。

昨年はそんな事を内観し、お題目を通じて自分の
心を律する事に気づけた1年でした。

年の瀬に頂いたカレンダーの表紙には、今年の
指針となる文字『言成』がありました。

言葉を成す。言葉を成熟させる。しっかりと物事を
理解し伝える力をつけるのではないかと考えました。

1月の標語には『難しい仕事を進んでやる人こそ
必ず伸びる人である』と書かれていました。

今年の子年、12年の始まりと考えると、こころが
1つ1つの出来事を理解し、心を整理していくことで
成長し 良きよい1年になると確信しています。

～ 感謝の中で新年を迎える ～

新春のお慶びを申し上げます

2020年がスタートしました。令和2年は 十二支の初めの子年という事で、何かもうひとつ新たな気持ちに心がふくらみます。

今年は、なんといっても東京オリンピック開催の年です。日本最大のイベントの年になります。今からワクワクしてしまうような年ですね。

そして子(ねずみ)と言えは、大古久尊天様の使いの者とされています。

我が家は年末に妙法を頂きました。それは、御住職が自宅回向に来られた時の事でした。大古久尊天様のお経をあげて下さった後に、「よく働いて下さっている大古久様だね。」と言われたのでした。そして... 「お水も多くお供えしなさい。」と言われました。その時は お聞えた通りに お供えしました。

夕方買っ物中にふとこねで良かったのか？ 今年一年因とねほど即けて頂いたのか？ 何か心からのお供えがしたいと思いました。目の前に鯛の塩焼きが目に入りました。それも、そこには一匹だけありました。大古久様にお供えさせて頂きたいと思いました。

すぐ購入しました。お神酒と一緒に お供えさせて頂きました。
主人が大病から奇跡的に生還、そして仕事復帰できました。
心から感謝の思いでいっぱいでした。

2日後に、主人より、"賞与が少し出たよ。"と言われました。

長期休養していらしたので、"まさか?..."。しかし、そのまさかは現実でした。主人の休養中未払いになっていた、健康保険料等とほぼ同額でした。未払い金の準備を考えていた時でしたので、大変うれしく思いました。

子年の今年もますます家族全員で、日々の感謝を心に、御題目を唱え、精進してまいります。

今年も、手報「日なた」をよろしくお願ひ致します。

日なたでも参加できます。詳しくは寺院まで

< 1月の行事予定 >

1月1日(水)	5:00~	元旦祝祷会
13日(月)	10:00~	初宗祖日蓮大聖人報恩会
18日(土)	10:00~	{ 初鬼子母尊神 七面大明神 } 祈禱会 初大古久尊天祈願会

< 1月住職の予定 >

< 1月の予定 >

1月3日(金)	13:00~	祭壇片付け
6日(月)	13:00~	おもち下げ 清掃、準備
7日(火)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
12日(日)		
13日(月)	法要後	片付け、準備
14日(火)	各々の時間で	清掃、準備
↓	↓	↓
17日(金)		